

# 兵解協だより

## 全解工連第3回（通算40回）総会が富山県で開催されました。



平成27年6月3日（水）14:30分から、ANAクラウンプラザホテル富山で第3回総会が開催されました。正会員41会員、116名、賛助会員9会員54名が出席しました。兵庫県からは、上原会長他3名が出席いたしました。

高山真幸会長が開会の挨拶に立ち、「本総会が会員、賛助会員の皆様のおかげで成り立っていることに感謝しています。解体工業が建設業法の29番目に来期から明記されるが、解体工事業の独立は、まだまだ道のりは険しい。解体工事施工技士の認可にも尽力を尽くしていきたい。」と述べられました。その後、議案審議が行われ、総会は無事終了しました。

16:30分からは、京都大学大学院工学研究科教授藤井聡氏による「国土強靱化とデフレ脱却」というテーマで講演会が開催されました。

そして18:00からは、総勢281名の出席のもと、懇親会が盛大に開催されました。国会議員をはじめ多くの来賓の皆様の挨拶がありその後、和やかな雰囲気の中で懇親会が進行されました。

そして最後に、次回開催県の「岩手県」に全解工連旗が「富山県」から引き継がれ、懇親会は終了いたしました。



全解工連旗の引き継ぎを受ける岩手県

## 第4回近畿ブロック会議が京都で開催されました。



平成27年6月18日（木）14:00から京都新都ホテルで、近畿ブロック会議が開催されました。兵庫県からは、上原会長他2名が出席いたしました。協議事項としては、解体工事施工技士、業法改正「解体工事業」について、全解工連の出野専務理事から説明があり、「解体工事の適正な施工確保に関する検討会」の中間とりまとめが発表された。それによると「解体工事施工技士も主任技術者の資格要件が認められる。また経過措置で現在のとび土工の資格はすべて（建設機械施工技士を含む）、H33年度まで解体工事業でも認められることになっている。

最終報告は8月末頃を予定しているとのことでした。また兵解協からは、近況報告として、今年4月に設立された「兵庫県建設産業団体連合会」に加入申請を行っていることと、かねてより兵庫県と協議を進めてまいりました「防災協定」の締結に関して、協議が完了した旨報告しました。次回第5回近畿ブロック会議は、平成27年9月17日（木）14:00から京都新都ホテルで開催される予定となっております。